

News Release

各位

2022年4月6日
株式会社エナリス

2022年度サステナビリティ推進計画を策定 ～2024年度目標と2022年度取組を公開～

株式会社エナリス(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:都築実宏、以下、エナリス)は、このたび、2022年度サステナビリティ推進計画を策定いたしました。

エナリスは、2021年2月に、マテリアリティ(重点的に取り組むべき社会課題)を公開しました。「脱炭素ソリューションの提供」「イノベーションの推進」「ダイバーシティ&インクルージョン」「コンプライアンス」の4つです。

今回策定した2022年度サステナビリティ推進計画では、この4つのマテリアリティごとに、2024年度目標と16項目にわたる2022年度取組を定めました。

◇2022年度サステナビリティ推進計画 <https://www.eneres.co.jp/company/sustainability>

マテリアリティ	テーマ	2024年度目標	2022年度取組
脱炭素社会に向けたエネルギーソリューションの提供	<ul style="list-style-type: none"> ◆社会の再エネ比率拡大 ◆追加性のある再エネの拡大 ◆エネルギー利用の効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ①「再エネ比率拡大／追加性のある再エネの拡大／エネルギー利用の効率化」につながる商品・サービスの提供比率を継続的に拡大する ※2022年度中に数値目標を決定 ②当社が提供する電力の排出係数を下げる ※2022年度中に数値目標を決定 	<ul style="list-style-type: none"> ①環境配慮型メニューの拡大 ・電力小売に占めるkW割合40%以上 ②脱炭素ソリューション提供実績の拡大 ・2022年度提供計画の達成 ・新サービスリリース（再エネアグリゲーション、オフサイトPPA、自己託送 等） ・組織再編、教育、広報活動
豊かな未来社会を実現するイノベーションの推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆脱炭素に貢献する新ビジネスの創出 	<ul style="list-style-type: none"> ①再エネや分散電源を有効に活用するスキームや技術の開発 ②電力の付加価値に着目した新規ビジネスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ①分散型電源の制御／ブロックチェーンを使った電力取引／エネルギー管理システムに関する技術開発 ②AIを活用した電力予測技術の開発 ③アグリゲーションに関する技術実証の推進 ④国内・海外での事例研究・調査・交流
ダイバーシティ&インクルージョンの推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆「人の成長」と「エナリスの成長」の両立 ◆ワークとライフの相乗効果の推進 ◆健康推進 ◆イノベーション推進環境の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ①多様な人材の活躍を推進する環境の整備 ②従業員が心身ともに健康を維持し安全安心な生活が出来るような環境の整備 ③個々の能力・特性を活かしたイノベーション推進環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ①エネルギーやサステナビリティに関する学びの実施 ②従業員の活躍の場の拡大につながる施策の実現 ③心身の健康推進に関わる施策の企画・実施 ④人と人とのアイデア交換が活発に行われる仕組みづくり
コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> ◆信頼あるガバナンス体制の構築 ◆持続可能な事業体制の構築 ◆ボランティアを通じた社会貢献 ◆自社活動の脱炭素推進 	<ul style="list-style-type: none"> ①人権・購買ルール・情報セキュリティ・製品・サービスの安全に関する違反・事故ゼロ ②事業継続計画(BCP)の更新と訓練の毎年実施 ③ボランティア活動の活性化 ④KDDIグループの削減目標（2030年に2019年比50%削減）に沿った脱炭素推進 	<ul style="list-style-type: none"> ①信頼されるガバナンス体制の構築に向けた各種規程の整備ならびに企業倫理活動の推進 ②エナリスの持続可能な責任ある調達方針・ガイドライン策定 ③事業継続計画(BCP)の更新と訓練の実施 ④教育分野におけるボランティア活動の実施 ⑤社員個人のボランティア活動を支援する仕組みの導入 ⑥職場環境における脱炭素施策の実施



■エナリスの事業と社会課題の深い縁

エナリスは、これまで、需給管理業務代行(2007年)やFALCON SYSTEM(2011年)など、イノベーションに基づくエネルギーソリューションを提供してきました。

近年は、オンサイトPPAサービスやVPPプラットフォームサービス、再エネアグリゲーションサービスなど、脱炭素を目的としたソリューションの提供を進めています。

マテリアリティに掲げた「脱炭素ソリューションの提供」と「イノベーションの推進」は、エナリスの事業のそのものにとらえています。

■一企業としてエナリスが果たす責任

エナリスは、過去の反省に基づき、毎年9月24日を「誓いの日」として制定し、信頼あるガバナンス体制の構築に努めてきました。

また、ガバナンス強化にとどまらず、働き方の工夫、心身の健康推進など、職場環境の改善をはかってきました。

マテリアリティに掲げた「ダイバーシティ&インクルージョン」と「コンプライアンス」は、エナリスが生きるための資格にとらえています。

自社と社会のサステナビリティを推進するため、16の取り組みは年度を通じて推進し、結果を公表してまいります。また、解決するSDGsについても検証していきます。

エナリスは、さまざまなステークホルダーの皆さまと協働し、声に耳を傾け、そのご意見を取り入れながら、社会のサステナビリティと「人とエネルギーの新しい関係を創造し豊かな未来社会を実現する」というビジョンの実現に向かって挑戦を続けてまいります。